



6月県議会…命と暮らしを守る県政めざして、遠藤れい子県議の大事にしたい事(その1)

新型コロナ対策、地域医療、原発などを質します

新型コロナ対策―大規模な検査とワクチンの迅速な接種を

6月15日、新潟県議会が開会しました。1人会派の遠藤れい子県議は、今回は一般質問できませんが、委員会ですら頑張りま

◆東京五輪の中止を◆

外国選手団の入国審査で、早々に陽性者が発見されました。今後、さらに多くの選手団が入国してきますが、一層の強力な入国審査と対応が求められます。

特に、感染力が強い変異株等の持ち込みにならないよう、政府には厳重な対応を求めたい。(日本共産党は東京五輪の中止を強く求めています。)

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種の促進を

国民の強い要望が政府

を動かし、各市町村でのワクチン接種が始まりましたが、様々な問題が発生しています。

県内ではかかりつけ医や病院での接種、朱鷺メッセなど大規模接種会場での接種、大学や企業集団での大規模接種など、様々な形態でワクチン接種が取り組まれるようになりました。

希望する人がスムーズに接種を受けられるよう対応を求めます。

(2) PCR検査の拡大・変異株の特定、保護・治療体制の充実を

専門家からは変異株に置き換わり、感染拡大が進むと「警鐘」がだされています。県として、変異株を早期に見し、保護治療できる対応が必要です。

(3) 県央基幹病院の計画変更はなぜ？

住民への説明と意見聴取を

県央地域は救急搬送に県内で最も時間がかかり、また圏域外への搬送が最も高い。そうした問題を解決するため、救急救命センターを備えた県央基幹病院を作り、圏域内で完結できる医療体制を作ることが住民の願いでした。平成28年に示された

文化振興議員連盟の定例会

馬頭琴にこころ癒されて…

6月17日の昼休み、県議会文化振興議員連盟の定例会が行われ「モングル人の大切なもの



馬と人のつながり」というテーマで長岡を拠点に活動されているデルゲルマーさんの馬頭琴の演奏を聴きました。議会対応で頭がいっぱいの今、馬頭琴の奏でる音色がモングルの広い草原にいぎなってくれます。こころ癒されたひと時でした。

今年の梅は良くできました。大収穫！

友達と一緒に梅を収穫しました。今年の梅は大きさも立派です。うれしいなあ～。私は梅ジュースをたっぷり作ることにしました。(6/20 遠藤れい子)



◆東京都議選告示される(25日)、投票は7月4日。

◆東京オリンピックは中止し、新型コロナ対策に全力を！

◆日本共産党の躍進で命を守ろう！ 野党共闘で政治を変えよう。



(孫とのふれあいが遠藤県議の元気の源)